

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（田中正繁委員長、森田義孝副委員長）を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月14日から22日までの実質6日間で審

査を行いました。

委員会では、市制100周年記念事業に関すること、防犯灯及び街路灯への補助に関すること、ごみ処理基本計画の策定に関することなど、多種

多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果を委員長報告書にまとめ、3月27日の本会議ですべての予算議案及び条例議案を可決しました。

平成29年度各会計予算の概要（1万円未満四捨五入）

区 分		予 算 額	対前年比 当 初 比
一般会計		548億4,000万円	△2.0%
特 別 会 計	国民健康保険	185億8,353万円	1.7%
	介護保険	131億8,892万円	△0.2%
	後期高齢者医療	21億1,561万円	4.8%
	病院事業債管理	10億5,123万円	△14.6%
	水道事業	※ 1 40億4,060万円	△3.5%
	公共下水道事業	※ 2 68億7,195万円	4.0%

※ 1 収益的支出
26億8,074万円
資本的支出
13億5,986万円

※ 2 収益的支出
32億 796万円
資本的支出
36億6,399万円

予算特別委員会の主な意見・要望

全会派及び無所属委員全員による積極的な賛同により、議会の合意形成が図られた意見要望

1 学童保育の充実（要旨）

- ・ 現在生じている待機児童の解消など当面の課題への対応を急ぐこと。
- ・ 開所時間の延長、夏休み期間中の利用拡大を図ること。
- ・ 次期アンケート実施時は、市民ニーズを的確に把握するため、対象を広げ、調査内容も十分精査を行った上で実施すること。

2 特別支援教育支援員活用事業の充実

障害のある児童生徒に応じた教育環境のさらなる充実に向け、支援員配置の強化、及び勤務時間制限の見直しなど改善に努められたい。

その他の意見要望

◆ ほっと安心奨学金制度

就学が困難な子供の実態を把握し、早期の事業化を図られたい。

◆ 生活困窮者自立支援事業

庁内外との連携を強め、対象者を救済し、一人でも多くの方が就労し自立できるように取り組まれたい。

◆ 訪問販売トラブル

本市でも相談が増加傾向にあるので、他自治体の取り組みも参考にして、問題の解決に努められたい。

◆ 空き家対策

危険な空き家が多数あるので、適正管理に関する条例を適用し、効果的な環境整備に努められたい。

◆ 市営住宅の管理

小規模事業者が修繕をする際には、敷地内に駐車できるように配慮されたい。

◆ 小型廃家電の回収

東京オリンピックの組織委員会が都市鉱山からメダルを製作する取り組みを活用した小型廃家電のリサイクル推進を図られたい。

◆ 若者の人口流出防止対策

地元企業の紹介や雇用情報等を充実させ、家族との協議の場が得られるような工夫をされたい。

◆ 健康いきいきマイレージ事業

コンサルタント委託に頼らず関係者等の意見・要望も反映して事業協力店の増加に努め、市民への周知も図られたい。